

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 ぼてと

保護者等数(児童数)35名 回収数 27 割合 77%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24			3	中々、見学に行くことができていないが活動スペースは十分だと思います。	保護者参観で実際に見て頂く機会を持つ。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25			2		職員紹介の案内を周知する。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	1		2		構造化に関しては、各児童の特性に合わせて対応する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	1				子どもに合わせた対応を行います。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	27					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26			1	専門用語すぎて解らないこともある。	できるだけ、分かりやすく説明できるように工夫を行います。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26			1		面談時に詳しく説明を行います。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	24			3		支援以外の活動の選択肢を増やします。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21	2		4	園に通っている子は交流する機会はありますが通っていない子の交流機会は把握していない。	要望があれば実施します。
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	27					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	19	2		6	・利用期間が短いため ・連絡帳に不安なことなど記入すればアドバイスももらえる。	個別で案内を行ったり、保護者向けの研修会を実施します。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25	2			連絡帳で確認できている	情報共有に努めます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	1				要望に応じて実施します。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	2	1	6	保護者会など、また参加したことはないが0円バザーなど保護者同士の交流の場が設けられている。	0円バザーを開催していきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26			1		要望があれば実施します。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	1				情報共有に努めます
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	1				HPやブログの更新の案内を行います。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	1		1		個人情報のマニュアルなどを紹介します。	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	25			2		HPで案内を行っているので、保護者へ周知していく。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26			1		HPやブログの更新の案内を行います。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	25	2				支援や活動の工夫を行います。
	23 事業所の支援に満足しているか	26	1				支援の結果について詳しく説明を行います。

*1 この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。